

ほすびたる

No.761

令和4年7月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	福岡県病院協会 第10回定時会員総会	公益社団法人福岡県病院協会 事務局	1
ご挨拶	退任にあたって	公益社団法人福岡県病院協会 前会長 赤司 浩一	6
	福岡県病院協会 会長就任のご挨拶	公益社団法人福岡県病院協会 会長 中村 雅史	7
特別寄稿	故小川洋知事を偲ぶ会、 小川知事と医療、コロナ感染症	公益社団法人福岡県病院協会 顧問 上野 道雄	8
声	フォーミュラリは標準的な 薬物療法を提供するためのツール	公益社団法人福岡県病院協会 参与 公益社団法人福岡県薬剤師会 副会長 神村 英利	10
新人物	就任のご挨拶	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 病院長 谷口 雅彦	12
病院管理	デジタル化が創造する病院の未来	福岡県済生会福岡総合病院 1) DX戦略チーム 2) 経営企画課兼経営分析室 3) 医事課兼経営分析室 新田 怜 ¹⁾²⁾ 田中健一 ¹⁾³⁾ 中島克洋 ¹⁾ 松浦 弘	13
Letter	1543年への旅 ～その6 鉄砲伝来から長篠の合戦まで	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園看護専門学校 名誉校長 朔 元則	16
Essay	ラーメン丼の縁模様	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師 安田 宏一	18
	人体旅行記 乳房（その十）	国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之	19

■福岡県私設病院協会 令和4年5月～6月の動き 15

■福岡県病院協会だより 20

■編集後記 岡嶋泰一郎 31

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 江頭啓介

専務理事 佐田 正之
理事 原 寛
理事 陣内 重三
理事 牟田 和男

理事 津留 英智
監事 松村 順
監事 中尾 一久
事務局長 日比生英一



JQA-QMA
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



福岡県病院協会 第10回定時会員総会

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

日時 令和4年6月28日(火) 17:00～17:35
場所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
(福岡市博多区博多中央街4-23)
総出席者 当日出席者 26名
委任状提出者 139名
計 165名(総会員数243名中)

■開会宣言

平祐二専務理事は、第10回定時会員総会開会を宣言。

■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、総会員数243名に対し、出席者は委任状を含め165名と会員の過半数を超えており、定款第17条に照らし総会が適法に成立していることを報告。

■会長挨拶

赤司浩一会長挨拶。

■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、深堀元文 医療法人社団益豊会今宿病院理事長兼院長と津留英智 社会医療法人水光会宗像水光会総合病院理事長を選出。

■議案審議(岡嶋議長)

○第1号議案「令和3年度事業報告について」

平専務理事から、概ね次のように報告された。

I 総務関係 ～会員数について

入会者は1会員、退会者は5会員であり、この結果、同年度末現在の会員数は245会員である。

II 総会の開催状況

令和3年6月23日に第9回定時会員総会を開催し、令和2年度事業報告など4つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

り承認された。

また、令和4年3月22日に臨時会員総会を開催し、令和4年度事業計画など3つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

III 理事会について

第77回から第79回まで計4回(うち1回はWEB開催)、臨時理事会を2回開催し、会務の執行に当たった。

(詳細は議案書に記載のとおり)

IV 「ほすびたる」関係

編集委員会を計6回開催し、隔月、20日に合計6回発刊した。

(詳細は議案書に記載のとおり)

V 研修会・県民公開医療シンポジウム関係

1 各種委員会等の開催状況

看護、栄養管理委員会をそれぞれ2回、診療情報管理研究、臨床検査、リハビリテーション、経営管理委員会をそれぞれ1回、企画委員会を5回開催した。

(詳細は議案書に記載のとおり)

2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

月別	研修会名	開催日	会場	参加人数
8月	第163回看護研修会	R3.8.4～8.6	九州大学医学部百年講堂	140名
9月 10月	第69回栄養管理研修会	R4.9.4 10.9 10.30	WEB配信	235名

11月	第62回診療情報管理研究研修会	R3.11.18	WEB配信	81名
12月	第164回看護研修会	R3.12. 8	WEB配信	117名
2月	令和3年度第1回経営管理研究会	R4. 2.21	WEB配信	158名
3月	第6回臨床検査研修会	R4. 3.12	WEB配信	54名
	第121回医療事務研究会	R4. 3.14	WEB配信	227名
	令和3年度第1回リハビリテーション研修会	R4. 3.24	WEB配信	221名

Ⅵ その他の事項

例年の事項であるが、「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を1年間更新した。（詳細は議案書に記載

のとおり）

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第2号議案「令和3年度収支決算について」

Ⅰ 令和3年度収支決算

伊東財務理事から、令和4年3月31日現在における貸借対照表、当期における正味財産増減計算書及び同内訳表等に基づき説明があった。なお、「貸借対照表」及び「令和3年度正味財産増減計算書内訳表」は、次のとおりである。）

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,759,521	3,681,645	
普通預金	4,208,858	3,174,779	
福岡銀行赤坂門支店	4,208,858	3,174,779	
定期預金	500,173	500,173	
郵便振替	50,490	6,693	
未収会費	50,000		
未収金	20,000	10,000	
広告料	20,000	10,000	
前払金		62,870	
流動資産合計	4,829,521	3,754,515	1,075,006
2 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,052,553	7,133,421	919,132
財政調整積立金	6,036,000	6,054,600	-18,600
特定資産合計	14,088,553	13,188,021	900,532
固定資産合計	14,088,553	13,188,021	900,532
資産の部合計	18,918,074	16,942,536	1,975,538
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	281,507	154,330	127,177
前受金	76,600	206,200	-129,600
会費	50,000		50,000
広告料	26,600	206,200	-179,600
預り金	143,190	165,148	-21,248
社会保険料	66,075	71,252	-5,177
雇用保険料	34,635	34,356	279
源泉所得税	43,190	59,540	-16,350
流動負債合計	502,007	525,678	-23,671
2 固定負債			
退職給付引当金	11,414,800	11,136,400	278,400
固定負債合計	11,414,800	11,136,400	278,400
負債の部合計	11,916,807	11,662,078	254,729
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	7,001,267	5,280,458	1,720,809
正味財産の部合計	7,001,267	5,280,458	1,720,809
負債及び正味財産合計	18,918,074	16,942,536	1,975,538

正味財産増減計算書内訳表（抜粋）
（令和３年４月１日から令和４年３月31日まで）

（単位：円）

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
(1) 経常収益										
特定資産運用益		11,151		11,151						11,151
受取入会金			5,000	5,000					5,000	10,000
受取会費			4,306,400	4,306,400			1,845,600	1,845,600	6,152,000	12,304,000
事業収益		4,450,500		4,450,500	1,239,500	1,545,000		2,784,500		7,235,000
受取補助金等	625,000	1,875,000	210,000	2,710,000	2,888,000	722,000	90,000	3,700,000	300,000	6,710,000
雑収益									50	50
経常収益計	625,000	6,336,651	4,521,400	11,483,051	4,127,500	2,267,000	1,935,600	8,330,100	6,457,050	26,270,201
(2) 経常費用										
事業費	3,174,718	10,792,756		13,967,474	4,905,143	1,488,609		6,393,752		20,361,226
管理費									4,118,698	4,118,698
経常費用計	3,174,718	10,792,756		13,967,474	4,905,143	1,488,609		6,393,752	4,118,698	24,479,924
特定資産評価損益等		-19,468		-19,468						-19,468
当期経常増減額	-2,549,718	-4,475,573	4,521,400	-2,503,891	-777,643	778,391	1,936,348	1,936,348	2,338,352	1,770,809
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
(2) 経常外費用										
特定資産売却損										
退職給付引当金減額										
経常外費用計										
当期経常外増減額		0		0	0	0		0	0	0
他会計振替額			321,506	321,506			-321,506	-321,506		
税引前当期一般正味財産増減額	-2,549,718	-4,475,573	4,842,906	-2,182,385	-777,643	778,391	1,614,094	1,614,842	2,338,352	1,770,809
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-2,549,718	-4,475,573	4,842,906	-2,182,385	-777,643	778,391	1,614,094	1,614,842	2,288,352	1,720,809
一般正味財産期首残高	-22,397,102	-32,279,768	37,393,647	-17,283,223	-19,386,094	8,391,055	12,847,939	1,852,900	20,710,781	5,280,458
一般正味財産期末残高	-24,946,820	-36,755,341	42,236,553	-19,465,608	-20,163,737	9,169,446	14,462,033	3,467,742	22,999,133	7,001,267
II 指定正味財産増減の部										
III 正味財産期末残高	-24,946,820	-36,755,341	42,236,553	-19,465,608	-20,163,737	9,169,446	14,462,033	3,467,742	22,999,133	7,001,267

II 監査報告

野村監事による当期の計算書類が適正に
処理されており事業報告も適正である旨の
監査報告について、平専務による代読が行
われた。

以上、第２号議案については、全員の拍手をもっ
て承認された。

○ 第３号議案「任期満了に伴う役員の改選等について」

平専務理事は、現在の理事、監事、議長及び副
議長の全員が本定時会員総会の終結と同時に任期
満了し、退任することとなるので、新たに選任す

る必要があり、５月 27 日付で、全会員あてに立
候補届及び推薦届の提出を依頼したところ、締切
日の 6 月 13 日までに、理事には中村雅史九州大
学病院病院長ほか計 25 名が、監事には野村秀幸
社会医療法人原土井病院院長ほか計 2 名が、議長
には岡嶋泰一郎社会保険仲原病院顧問が、副議長
には樋口雅則福岡ハートネット病院院長がそれぞ
れ立候補され、いずれも定款に定める定数以内で
あることを説明した。

なお、本総会において選任された場合、任期は、
本日の総会終了後から令和 6 年度の定時会員総会
の終結時までとなる旨を補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特

に質疑や異議の申し出等はなかったため、選任手続きに入った。議長は、定款第17条第3項の規定に基づき、「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに行わなければならない」ことを説明のうえ一人ずつ決議する旨を述べ、候補者ごとに賛成者の拍手を求めたところ、中村雅史候補者ほか計25名の理事候補者全員が、過半数を超える拍手により選任された。

次に議長は、監事を選任に移り、同様にして、野村秀幸候補者ほか計2名の監事候補者全員が、過半数を超える拍手により監事に選任された。

さらに、議長は議長及び副議長の選任に移り、同様にして、岡嶋泰一郎候補者が議長に、樋口雅則候補者が副議長に選任された。

続いて、本議案の後半部分である退任予定者への顧問委嘱案の審議に入った。平専務理事は、今期で退任する赤司会長の顧問就任について、会員総会の議決を求めた。議長が順に議場に諮ったところ、全員の顧問就任が全員の拍手により承認可決された。

○ 第4号議案「異動に伴う参与の委嘱について」

平専務理事は、推薦団体の人事異動により、新たに推薦のあった上原洋介西日本シティ銀行法人ソリューション部長に関し、前任者の残任期間である令和5年6月末までを任期とする参与の委嘱について、会員総会の承認を求めた。

議長が議場に諮ったところ、全員の拍手をもって承認可決された。

■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■ 総会終了

平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、第10回定時会員総会は滞りなく終了した。

第2回臨時理事会（みなし決議）報告

協議事項3件について書面表決を行い、令和4年7月7日にいずれも決議されました。

I 理事会の決議があったとみなされたもの

1 事項の内容

第1号議案

代表理事（会長）の選定について

中村雅史理事を代表理事（会長）に選定することについての同意を求めるもの

第2号議案

副会長、業務執行理事等の選定について

副会長に県内3大学病院（久留米大学病院、産業医科大学病院、福岡大学病院）の病院長に加え、一宮理事の4人、業務執行理事（専務理事、総務理事、財務理事及び企画理事）に、平、岩永、伊東及び壁村理事、五役には、一宮及び横倉理事を選任することについての同意を求めるもの。

第3号議案

各種委員会担当理事の選定について

各種研修員会担当理事の選定について、案のとおり同意を求めるもの。（案略）

公益社団法人福岡県病院協会 役員名簿

(役員任期：令和6年度定時会員総会終結時まで)

役職名	氏 名	所属病院 及び 役職
会 長	中村 雅史	九州大学病院 病院長
副 会 長	志波 直人	久留米大学病院 病院長
副 会 長	田中 文啓	産業医科大学病院 病院長
副 会 長	岩崎 昭憲	福岡大学病院 病院長
副 会 長	一宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 病院長
専務理事	平 祐二	医療法人原三信病院 理事長
総務理事	岩永 知秋	久山療育園 重症児者医療療育センター センター長
財務理事	伊東 裕幸	宗像医師会病院 病院長
企画理事	壁村 哲平	済生会二日市病院 院長
理 事	江頭 啓介	さくら病院 理事長
〃	於保 和彦	(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 院長
〃	桑野 博行	福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長
〃	小嶋 享二	福岡県立精神医療センター太宰府病院 院長
〃	島 弘志	社会医療法人天神会新古賀病院 副理事長・総病院長
〃	津留 英智	社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	中房 祐司	福岡赤十字病院 院長
〃	富松 愈	医療法人富松記念会三池病院 院長
〃	平城 守	公立八女総合病院 企業長兼院長
〃	前原 喜彦	公立学校共済組合九州中央病院 病院長
〃	増本 陽秀	飯塚病院 院長
〃	松浦 弘	済生会福岡総合病院 院長
〃	森田 茂樹	国立病院機構九州医療センター 院長
〃	山下 博徳	国立病院機構小倉医療センター 院長
〃	横倉 義典	ヨコクラ病院 院長
〃	渡邊憲太郎	医療法人西福岡病院 院長
監 事	野村 秀幸	社会医療法人原土井病院 院長
〃	原 寿郎	福岡市立病院機構理事長 兼福岡市立こども病院 院長
議 長	岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 顧問
副議長	樋口 雅則	福岡ハートネット病院 院長
顧 問	今泉暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	(一社)福岡県社会保険医療協会 理事長
〃	久保 千春	中村学園大学・中村学園短期大学部 学長
〃	石橋 達朗	九州大学 総長
〃	岡留健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上野 道雄	国立病院機構 福岡東医療センター 名誉院長
〃	寺坂 禮治	福岡赤十字病院 名誉院長
〃	赤司 浩一	九州大学 副学長・九州大学病院 第一内科教授

(令和4年7月7日現在)

退任にあたって

公益社団法人福岡県病院協会

前会長 赤司 浩一



福岡県病院協会は、1950年に設立された長い歴史と伝統を持つ協会で、県内の大学病院、公的病院、私設病院の院長先生が主な構成メンバーです。私は2018年より、本協会の会長を務めさせて頂きました。この6月で退任するまでの4年間、会員の皆様には本協会の活動を助けて頂き、大変感謝しております。また、本協会の活動を通じてたくさんの方々にお会いすることができ、私自身、地域医療を包括的に理解する機会を頂きました。大変有り難うございました。

会長としての任期は、新型コロナウイルス感染症が全世界を席卷し、福岡県も全力でそれに当たらなければならない時期に重なってしまいました。その間、各病院は、福岡県、福岡市の感染症対策にそれぞれの立ち位置に合わせてベストを尽くし、極めて難しい状況下において地域医療の維持に努めてきました。現在第6波も過ぎつつありますが、この時期の意思疎通のプラットフォームとして、本協会は大きな役割を果たせたと思います。パンデミックは、定期的に人類を襲ってくる宿痼とも呼べるものですが、高度医療の開発が進む現代医療体制においてもパンデミック感染症対応には積み重ねがなく、今回の新型コロナウイルス感染症は、パンデミックに対する意識と知識、そして対応能力

を高める得がたい機会であったとも感じています。

このコロナ禍を通して明らかとなった事のひとは、国民の健康を守るため、医師に限らず地域医療を支える医療職の育成が重要であり、医療情報を活用した教育体制に新たな工夫が必要であることです。本協会の財政の屋台骨でもある数々の教育事業が滞ったことは残念でしたが、来年度からは徐々に復活し本来の姿に戻っていくと予想されます。今後はまだ歪みの目立つ新専門医制度を医師教育システムに取り込むという課題があります。更に医師の働き方改革がいよいよ佳境を迎えます。これらふたつの大きな課題を、福岡県の地域医療事情を十分に考えて、医療に携わる多職種の医療人それぞれの役割、立場、生き甲斐などを俯瞰し考慮して、適切に地域医療体制に織り込んでいく必要があります。本協会が果たすべき役割は大変大きいと考えます。

皆様からのこの4年間のご協力とご指導に心より感謝申し上げます。本協会は今年度より新しい会長に中村雅史九州大学病院長を迎えます。新しい体制において本協会本来の様々な事業が今まで以上に活性化し、福岡県地域医療の要として益々発展して行くことを祈念致します。

福岡県病院協会 会長就任のご挨拶

公益社団法人福岡県病院協会

会長 中村 雅史



本年7月から、前任の赤司浩一先生の後任として、福岡県病院協会会長を拝命することとなりました九州大学病院長の中村雅史と申します。本協会は昭和25年12月9日に日本で最初の病院協会として設立され、以来、地域医療の向上や県民の健康増進に寄与する活動を行ってきました。その初代会長は九州大学第一外科第2代教授である赤岩八郎先生でした。私は2015年より第8代の旧第一外科（臨床・腫瘍外科）教授を拝命しており、偉大な先達の後継として本協会会長の任に就くことを光栄に思うとともに、身の引き締まる思いも感じています。

私は九州大学を昭和63年に卒業後、同第一外科に入局し4年間福岡県内の病院で修練を積み、その後がんセンター中央病院や九州大学大学院、ハーバード大学等で一貫して癌の臨床と研究に関する研鑽を続けて参りました。2011年に川崎医科大学消化器外科主任教授を拝命した後、2015年から九州大学臨床・腫瘍外科教授、2018年より九州大学病院副病院長（危機・医療安全担当）に任じられ、2022年4月より同病院長を拝命しています。副病院長2年目の冬に、現在も収束の目処がたっていない新型コロナウイルス感染症が発生し、執行部の一員としてこのパンデミックへの対策を行ってきました。そして、この新型感染症に対する経験から、県民の方々の健康を守るためには行政も巻き込んだ地域医療機関の協力体制が必要不可欠であることを改めて痛感しました。

医療機関を取り巻く環境は大きく変化してき

ており、上述の新型コロナウイルス感染症の他にも様々な課題への対策を迫られています。将来の医療需要予測に基づいた福岡県医療構想、副業・兼業先も就業時間に含めた医師の働き方改革、新専門医プログラム等、一医療機関では対応不可能であり、地域の医療機関が連携して取り組むべき課題が待ったなしの状況で山積しています。本協会は、県内の大学病院、公的病院、私設病院250病院の病院長が参加しており、今後ますますその役割が重要となってきています。本協会の活動を通じて、このような山積する課題に対する検討・議論・提案を全会員施設とともに活発に行って参ります。

また、県民のみなさまに医療に関する我々の姿勢や情報を直接伝え、また、県民のみなさまの思いや要望をお聞きする活動も、各地での県民公開医療シンポジウムや、昭和28年から毎月発刊している福岡県病院協会誌「ほすびたる」を通じて継続して参ります。

地域医療は役割が異なる様々な得意分野や規模を持つ医療機関の連携により成り立っています。そして、各々の施設は多くの職種のチームワークにより運営されています。本協会の活動を通じて、福岡県の医療に携わる様々な医療機関や職種の方々の連携をさらに強力にして、山積する課題に対応して福岡県の医療を守り、発展させて参りたいと思います。

皆様からのご支援・ご指導を、何卒よろしくお願い申し上げます。

特別寄稿

平成2年の暮、携帯電話が鳴りました。『息が苦しくて病院にきた。胸に水が貯まっていると言われた。』、『水は両肺か片肺か』、『片肺や、何が考えられる』、『いろいろ、あるけん、そちらに急いでいく』と答えて病院に急いだ。病院に着くと、胸水からがん細胞が検出されていた。小川知事は毅然と、『県民との約束がある。何でもする。

なることはなかった。2種感染症の指定病床はあるが、戦後70年、その使用経験は皆無であった。医師・看護師の確保、病床機能の回復から、医師看護師の



故 小川洋知事を偲ぶ会、小川知事と医療、 コロナ感染症

公益社団法人福岡県病院協会 顧問 上野 道雄

最善の治療法を考えて欲しい。』、石橋九州大学学長と首を垂れて話を聞いた。知事本人と当該病院長や診療科部長と、分子標的薬のマッチングを急ぎ、九州大学に転院して治療に全力を傾ける。全国的な先進施設とセカンドオピニオンを行なうこととした。コロナ感染症の第3波の流行と歩調を合わせるように、病状が進行して胸水の産出量が一日1Lほどで酸素吸入が欠かせなくなった。そして、遺伝子標的薬は全て適応なしであった。

小川知事は連日、胸水を抜き、抗がん剤の副作用に耐え、人目を避けて酸素投与を受けながら、コロナ対応の陣頭に立った。令和3年、コロナ流行の第3波はピークを迎え、高齢者施設でのクラスターが続き、調整本部には調整待ちの認知症患者が列をなし、重症患者と死亡患者が着実に増加した。県庁職員はホテル拡張に迫られ、病院は増床に努力を傾注したが、自宅待機患者は飛躍的に増加した。県庁と小川知事の病床を往復し、寒風が吹く漆黒の闇でタクシーを探す毎日でした。タクシーに乗り込み、体が暖かくなると、何度も1年前のことが蘇った。

PCR測定の規準に関して福岡県と医師会は協議を続けたが、誰が患者をどこでみるかが話題に

予防着脱着訓練、患者導線の確定、何より院内職員への病院の方針の告知と納得が必須であるが、具体的な指針は皆無であった。感染症指定病院の院長の不安と不満が満ち満ちているに違いない。一同に集まって、不安といら立ち、現状を赤裸々に共有して、院長が県の方針に共感して一丸となって進まないと大変なことになる。県庁で医監と熱く語りあうと、結局、厚生労働省の通達がなく、県が独自に動くことは難しいことに尽きた。

福岡東に疑似エボラ患者が入院した折、厚生労働省のマスコミ発表が福岡東に配慮を欠いたものであった。厚生労働省から派遣された医官に苦情を言った。『先生のご指摘は理解できたが、修正することは難しい、マスコミも応じないと思う』、そこで、福岡県と古賀市に協力をお願いしたところ、『厚生労働省の発表を変える権限はない。悪いが、そのまま発表させてもらう。先生がマスコミに病院の見解を発表する以外にないと思う』とつれない返事であった。当院に押し寄せたマスコミにざっくばらんに、経緯を相談したところ、『日本は官僚支配の国。県や市町村は独立して見えるが、ある種、支店や代理店のようなもの。可能な限り協力しよう』と同情された。

パンデミック感染症には第一線の現場指揮官の協力が絶対必要と医監を説得、阿吽の呼吸で、小川知事に電話して公邸に赴いた。『院長会議の主旨は良く判った。自分も出ようか』と即断された。感染症指定病院長会議を3月1日に開催した。院長先生には現状と方針を共有共感頂き、コロナ対応の前線でご奮闘頂いた。そして、協力病院も全県的に広がり、院長会議で県の方針を協議・検討する姿勢が定着した。

コロナの医療体制のための医師や看護師はいない、日常診療に備えた医療資源から病床や医師、看護師を供出する必要がある。日常診療への影響を抑えるため、ホテルを借り上げ、JMATの一般医師を常駐させて100-200人の軽症・無症候患者の隔離と健康観察を担う準医療施設を立ち上げた。福岡県は通常の感染症指定病床とホテルの準医療施設を合わせて、医療提供体制とすることとした。九州山口ECMO協力体制の構築やアビガンの早期投与体制の構築、福岡県と政令市との協議にも、市長に直接、電話をかけて頂いた。小川知事のガバナンスで、福岡県は他の都道府県と異なる医療提供体制を整えた。当県の医療提供体制はどうか第3波を守り切った。

知事の病状は悪化の一途であった。酸素投与を受けながら、知事は苦しい息遣いで福岡の事情を厚生労働大臣に伝えた。ハラハラと見守る小生に、振り返って『言うことは言った』との知事の顔色に、『酸素を』と言って、言葉を飲んだ。小川知事は正直に胸水の貯留を県民に告げ、日時を限った最後の入院となった。抗がん剤が漸く効果を発揮し、胸腔ドレーンが取れ、酸素投与を中断した。小川知事はコロナとの闘いからの撤退を決意して、県民に慟哭の謝罪と辞職を告げた。

第3波が漸く治まると、関西地区での医療崩壊の危機的な状況が報じられた。病床の拡張が必要であるが、県の要請で病院は拡張した直後で、更なる拡張の可能性が危惧された。病院長会議で関西地区の医療崩壊の可能性、深刻であった第3波

の状況、新たな目標と要望を伝えた。襲来までの短い時期に、コロナの医療提供体制は病院病床が500床(802床→1312床)、宿泊病床が700室(1387室→2106室)、全医療機関から水がしみ出るように拡張され、最大の増床率であった。病床の知事に、『各施設が自立的な努力を発揮した。知事の英断で始まった病院長会議の賜物』と伝え、自分も参加したかったと、微笑まれたが寂しげであった。そして、第4波が襲来した。酸素飽和度を利用できない保健所のトリアージは深刻な事態を招いた。

ホテル病床と病院病床の機能分化が不十分で、病院病床には40%を越える軽症患者が収容され、ホテル病床には酸素飽和度が93%未満の中等症患者が溢れ、酸素投与を強いられた。幸い、ホテル宿泊病室での死亡患者は皆無であった。政令市の保健所長の話では、自宅待機患者は酸素飽和度計で呼吸機能を診断し、保健所の公用車で対応した。病院の受け入れが困難な際は、ホテルに事情を話して一晩、預かってもらい、感謝しているとのことであった。当方の想定を超えて、県と政令市の現場では協力が実践されていた。第4波は深刻な状況で、福岡の医療も医療崩壊の一步手前であった。県当局との阿吽の呼吸で実現した小川知事のガバナンスで、どうか医療崩壊を免れた。小川知事には真摯に感謝した。

小川知事は再起して県民の期待に応える義務があると、最期まで肺ガンと闘われ、県民のことを案じながら11月2日、永眠された。合掌。

故小川洋知事を偲ぶ会(初盆会)を企画しました。発起人は松尾新吾九電特別顧問、服部誠太郎知事、石橋達朗九州大学学長、横倉義武元日本医師会長、蓮澤浩明福岡県医師会長等々で令和4年8月9日(火曜日)、午後24時、ニューオオタニ博多、4F 鶴の間で開催します。福岡県の医療と小川知事を偲びたいと思います。職員を誘ってご出席をお願いします。



フォーミュラリは標準的な 薬物療法を提供するためのツール

公益社団法人福岡県病院協会 参 与 神村 英利
公益社団法人福岡県薬剤師会 副会長

わが国の多くの医療従事者には、フォーミュラリは耳慣れない用語と思われます。米国では、フォーミュラリは「疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師をはじめとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断に必要な、継続的にアップデートされる医薬品のリストおよび関連情報」と定義されています。一方、わが国では団塊の世代が後期高齢者に移行する 2025 年を見据えて策定された経済財政運営と改革の基本方針（以下、骨太の方針）2016 で、生活習慣病等の処方の在り方を検討することが示されました。これを踏まえた薬価制度の抜本改革に向けた基本方針（2016 年 12 月）において、国民皆保険の持続性、イノベーションの推進、国民負担の軽減、医療の質の向上を目指すことが示されて、有効で安全なうえに、経済的な薬物療法が行われるように、国はフォーミュラリを推奨するようになりました。このような経緯から、わが国ではフォーミュラリとは有効性、安全性、経済性を勘案して選択された医薬品のリストあるいは医薬品の使用ガイドラインで、標準的な薬物療法を提供するためのツールという位置づけです。

フォーミュラリには、特定の医療機関で策定・運用される院内フォーミュラリと一定の

地域で使用される地域フォーミュラリがあります。院内フォーミュラリは患者が多くて非専門医も診療せざるを得ない疾患（消化性潰瘍、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、不眠症、感染症等）の治療薬や診療科横断的に処方される薬効群について策定されています。一方、地域フォーミュラリは、地域の医薬品使用数量シェアを重視したものや過疎地では医薬品の安定供給を目的としたものが策定されています。

わが国で使用されているビスホスホネート製剤のうち、骨密度、椎体骨折、非椎体骨折、大腿部近位部骨折、ステロイド性骨粗鬆症のいずれの適応症に対しても第 1 選択薬に位置づけられ、しかも後発医薬品が販売されているのはアレンドロン酸とリセドロン酸です。また、後発医薬品は先発医薬品の物質特許期間終了後に開発されるため、利便性が高いものが多いのです。そして、バイオ後続品には先行バイオ医薬品を対照にした臨床試験が課せられ、製造販売承認後は医薬品リスク管理計画に基づいて医薬品安全性監視活動とリスク最小化活動が実施されます。さらには、薬価は高額な先行バイオ医薬品の 0.7 倍以下です。このように、後発医薬品とバイオ後続品は有効性と安全性が担保され、利便性が高く、

経済的な医薬品であることから、フォーミュラリの推奨薬になる条件を満たしています。骨太の方針 2021 ではフォーミュラリ等を利用して後発医薬品の更なる使用促進を図っていますが、有効性と安全性に経済性と利便性を加味して医薬品を選択するならば、後発医薬品やバイオ後続品が第1選択薬になると思われます。一方で、後発医薬品やバイオ後続品がない薬物も多く、フォーミュラリは新薬の採用や使用を制限するものではありません。実際に、先発医薬品や先行バイオ医薬品を推奨薬にしているフォーミュラリも存在しています。

ある病院では、フォーミュラリの策定前はアレンドロン酸内用ゼリー（先発医薬品）の処方割合が約70%を占めていましたが、策定後は約30%（40%減）となり、代わりに同成分の後発医薬品の処方割合が約40%増加しました。穿った見方かもしれませんが、以前はゼリー剤でなくてもよい患者にも処方されていたのが、フォーミュラリを策定することで医薬品が適正に使用（患者ごとに最適な医薬品が処方）されるようになったのかもしれない。

フォーミュラリを策定している医療機関の大半は、処方時の参考資料という認識で、推奨薬以外の処方も可にしています。つまり、フォーミュラリは医師の処方を制限するもの

でもありません。標準的な薬物療法を適用できない患者には、医師の裁量で適切な薬物療法が提供されるべきです。

院内フォーミュラリは、院内の諸事情に応じて策定することができますから、自由度は高いと言えます。一方、地域フォーミュラリの医療経済効果は院内フォーミュラリより高いのですが、策定・運用には医師会と薬剤師会、さらには地域によっては基幹病院、行政機関、医薬品卸売販売業者、保険者等の合意が必要ですから、難易度は高くなります。

2021年度の調査によると、院内フォーミュラリを策定している医療機関は回答施設の1割弱、策定予定の施設は2割弱で、前年度に比べると増えていますが、7割強の施設は、これから取り組むテーマです。また、地域フォーミュラリが策定されている地域は数か所です。しかしながら、2025年を目途に地域包括ケアシステムが構築されますから、各地で地域フォーミュラリが策定されれば、転院・退院で主治医が交代しても一貫した薬物療法が提供され、持参薬鑑別とそれに基づく疑義照会や処方提案が簡素化され、医薬品の不良在庫が減少するとともに、供給が安定すると思われます。これらのことから、地域フォーミュラリの策定・運用も地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組む課題と言えるでしょう。

表 フォーミュラリの特徴と課題

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 標準的な薬物療法を提供するための推奨薬リストまたは医薬品使用ガイドライン
(専門医が最先端の薬物療法を提供するためのツールではない)2. 有効性、安全性、経済性、利便性から後発医薬品・バイオ後続品が推奨されるが、新薬の採用および医師の処方を制限するものではない3. 地域フォーミュラリの策定は、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組む課題 |
|---|

就任のご挨拶

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
病院長 谷口 雅彦



本年4月から、雪の聖母会 聖マリア病院の院長職を拝命いたしました谷口雅彦と申します。1991年に宮崎医科大学を卒業し、宮崎で7年間外科医としての修練を積み、肝臓外科を学ぶべく国立がんセンターに参り、その後肝移植医を志すべく北海道大学に移りました。以後14年間、北海道各地やアメリカで移植医療、地域医療を学びました。その後4年間旭川医科大学で肝胆膵・移植外科に従事し、ご縁あり2014年に久留米に参りました。久留米に来てからの7年間、北海道で生まれた子供たちはこの筑後地域に育てて頂きました。

釈迦に説法ですが、医療は常に歴史の積み重ねであり、先人たちの心血を注いだご尽力の上に成り立っています。化学療法然り、外科手術然り、昨今のCOVID-19感染もまた然りかと思ひます。我々医療者は常にその歴史を重んじ、その歴史の上に立つものとして、我々もまた新たな歴史を積み重ね、そして次の世代の方々に立って頂く義務があります。我々聖マリア病院は、1915年の井手内科医院に始まり、1953年に現在の聖マリア病院となって以降、70年の長きに渡り地域に根ざし、新生児医療、救急救命医療、透析医療、そして総合病院として、地域医療に貢献して参りました。この歴史を踏まえ一層地域医療に貢献できるよう、今後さらに地域の医療機関と連携し、地域を1つのユニットとして捉え、より質の高い医療を目指

して参ります。院内では、既存のセンターを働く場として集約化すべく、現在の救命救急センターに加え、がんセンター、循環器・脳血管センター、生活習慣病センター、こども医療センター等を新設します。そして医療現場の問題を「研究」という形で解決する文化を根付かせ、そしてそれらを実践できる人材を育成する「教育」に一層の力を注いで参ります。研究においては、研究センターを新設し、研究支援ユニットを発足させ、臨床研究・治験に力を入れて参ります。教育においては、教育・研修センターを設け、毎年迎える18名の初期臨床研修医を全診療科挙げて教育する体制を構築します。

グローバル化、ダイバーシティ化、IoT化が加速度的に進む社会の中で、我々はさらに高度医療を充実させ、最新の医療情報や我々の診療実績などを常に発信し、「患者さんに選ばれる存在」になることを目指さねばなりません。他方、2024年からの医師の働き方改革も待たなしです。このような大変厳しい社会的背景の中で、全職員、さらには地域医療に携わられる方々と一緒に地域医療に邁進したいと思います。夢があれば人が集まる、人が集まれば知恵が集まる、知恵が集まれば夢が叶うと信じ、「全ては患者さんのために」という大きな旗の下、夢を持って世界に情報を発信できる病院を目指します。ご指導何卒よろしくお願い申し上げます。

デジタル化が創造する病院の未来

福岡県済生会福岡総合病院

1) DX戦略チーム

2) 経営企画課兼経営分析室

3) 医事課兼経営分析室

新田 怜^{1) 2)} 田中 健一^{1) 3)}
中島 克洋¹⁾ 松浦 弘

2022年4月、コロナ禍においては2度目の診療報酬改定が行われました。当然ながら、新興感染症への対応が最重要課題として掲げられ、それと共に、働き方改革の推進が、前回改定に引き続き重点課題として位置付けられました。具体的には、地域医療確保を図る観点から救急医療提供体制の評価、医師の長時間労働抑止をはじめとする勤務環境改善の取組の評価、タスクシフトの評価、業務の効率化に資するICTの利活用の推進の4点が明記されています。この内、各医療機関における喫緊の課題は「医師の長時間労働抑止の取り組み」かと思われます。2024年4月から医師の時間外労働の上限は、年960時間、月100時間未満（どちらも休日労働含む）と定められました。例外として、緊急性のある医療を提供する地域医療確保暫定特例水準（B水準）、研修医や高度な技術取得のための研鑽を積む医師を対象とした集中的技能向上水準（C水準）が設定されています。どちらも時間外労働の上限は年1,860時間、月100時間未満です。なお、B水準はあくまで暫定的な措置であり、2035年度末までに解消するとしています。C水準も同時期までに縮小する方向です。今後、B・C水準の申請を予定する医療機関を中心に、宿日直許可の取得や医師労働時間短縮計画の策定などの対応が急がれます。そして、タスクシフトの評価やICTの利活用の推進というのは、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革の推進を下支えし、病院の未来を創るものであると言えます。少子高齢化社会が進む日本社会において、今後、労働生産性に係る人的リソースは減り続ける一方で

あり、特にサービス業や医療・福祉分野で深刻な人手不足が生じることは周知の事実であります。そういった環境下で、各医療機関が質の高い医療を提供し続けていくためには、デジタルツールやIT技術の活用によって、労働生産性を高めていくほかありません。既に慢性的な人材不足が続く介護の現場においても、同様に人材確保やテクノロジーの活用は重要な課題と言えます。2024年の医療・介護同時改定では、より一層医療・介護の現場におけるデジタル化が加速するのではないのでしょうか。

また、内閣府が提唱する超スマート型社会「Society5.0」においても、医療・介護は重要な位置付けとされています。Society5.0は、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、日本が目指すべき社会の姿とされています。ビッグデータ活用やAI解析、ロボット技術等により、人が負担していた作業をインベーション技術が代行・支援し、人間が人間らしく快適で豊かな生活を送るというコンセプトで、少し壮大なテーマに感じますが、医療・介護の分野においては、既に多面的な導入が始まっています。特に、健康寿命の延伸に焦点が定められ、PHRの推進や、ビッグデータ・AIを駆使した予防医学の発展が進められています。その他にも、介護現場でのロボット支援や遠隔診療など、人手不足の解消や負担軽減の観点からもその動向が注目されています。

当院では、種々の社会的背景や外部環境分析を元に、2021年4月に「DX戦略チーム」を立ち上げました。病院長直轄のプロジェクトとし

て位置付け、この1～2年間で集中的な活動期間としています。DXとは、デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略語です。近年、デジタル化による企業変革を表す言葉として使われており、医療業界でもその流れは加速しております。このプロジェクトは、単に個々の業務をデジタル化していくのではなく、中長期的に、医療サービスのみならず、労働環境や組織風土など病院全体がデジタル技術の採用によってより良い方向に変革していくことを目的としました。事務部が中心のメンバー構成ですが、組織横断的活動を行うため、看護部をはじめとする多職種がメンバーとして参画しています。

これまでの取り組みを一部紹介させていただきます。まず、ビジネスチャットツールの活用です。当院では、全医師や各部門の役職者、約270名を対象としました。院内にいたなくても正確で抜けのないコミュニケーションが可能となり、緊急時の情報発信ツールとしてだけでなく、災害時の自主登院可否確認、医師向けの研修情報の共有、毎日の病床情報（病棟毎の稼働状況、科ごとの月間新入院数、DPC期間Ⅱ超）共有などに活用しています。次に、ワークフローの活用です。院内のあらゆる決済書類について、紙回覧+押印を廃止し、グループウェア上での決済とすることで、ペーパーレス化及び情報伝達速度の向上を目指しました。まずは、院内に存在する書類の洗い出しから始め、ペーパーレス・押印廃止可能なものを抽出しました。院内には相当数の書類が存在しており、洗い出しに苦労したのは言うまでもありませんが、出現頻度の高い書類からデジタルシフトしていくことで、各担当者により効果を実感してもらいました。それが組織全体に広がり、浸透するまでさほど時間はかかりませんでした。当院では、各種委員会の議事録が院長を含む数名の承認者を通過した後、グループウェアで院内

周知される運用となっておりますが、ワークフローの導入後は、委員会が開催された日から起算して、概ね一週間程度で議事録が院内周知されております。現在、100種以上のワークフローが稼働しており、更に対象範囲を拡大中です。最後に、RPAの活用です。RPAは、一定のルールに基づいた作業を自動化することの出来るツールであり、主に事務部門に存在する多くの定型業務を置き換えることが可能です。現在、積極的なタスクシフティングで数多くの業務移管が推進されていますが、移管先の業務が増大する一方であれば、結局は人員補充を考慮する必要性が生じ、組織全体の業務効率化とは言えないかと思います。当院では、その移管先の業務をRPAに更に移管する、ダブルタスクシフティングの仕組みづくりを進めています。人手が取られる作業をロボットに任せることによる業務の効率化だけでなく、担当者が定型業務から解放されることで、考える時間が生まれ、より付加価値の高い業務に注力することが可能となります。RPAは、組織全体の業務効率化だけでなく、労働生産性の向上に大きく貢献できるツールであると考えています。

病院の未来を創るデジタル化ですが、仕組みづくりの際に該当部署に業務負担が生じることもあり、現場からの反発や反対意見が挙がることも多くあります。また、導入後すぐには効果が得られないものもありますので、私たちは介入する際に、納得性の高い説明を心掛けることと、何よりその先の未来を分り易く示してあげることが大切だと考えています。デジタル化は目的ではなく、一手段に過ぎません。生産年齢人口が減少していく中でも、デジタルツールやIT技術の活用によって、業務効率化と共に医療の質を更に高め、働き方や勤務環境の改善、そして、患者さんや地域の先生方の利便性を向上させるスマートホスピタルを目指していくことが最終目的と考えております。

◎ 令和4年度 第2回理事会

日 時 5月10日（火）午後4時〈web会議〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 新型コロナウイルス感染症対応について
 - (4) 地域医療構想について
 - (5) 第9回定時総会について
3. 報告事項

◎ 事務長会運営委員会

日 時 5月19日（木）午後3時〈会議室〉

議 題

1. 協議事項
 - (1) 令和4年度診療報酬改定の影響について
 - (2) 事務長会企画9月研修会について
 - (3) 情報交換について
2. 報告事項

◎ 第9回定時総会

日 時 5月27日（金）午後4時

〈協会看護学校4階 講義室〉

- 議 事 報告事項1 令和3年度事業報告
- 第1号議案 令和3年度計算書類承認の件
- 報告事項2 令和3年度公益目的支出計画
実施報告
- 報告事項3 令和3年度事業計画について
- 報告事項4 令和3年度予算について
- 第2～5号議案 役員改選について

出席会員数 188名（本人出席 19名、委任状出席 169名）

◎ 臨時理事会

日 時 5月27日（金）午後4時45分

〈協会看護学校4階 講義室〉

- 議 題 (1) 会長の選定 (2) 副会長の選定
- (3) 専務理事の選定 (4) 会計理事の選定
- (5) その他

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6月3日（金）午後3時〈会議室〉

議 題

1. 協議事項

- (1) 11月研修会企画案について
- (2) 2022年度診療報酬改定とその対応について
- (3) 認知症対策（認知症デイ）について
- (4) 在宅支援について
- (5) 主任・課長などの基準について

2. 報告事項

◎ 令和4年度 第3回理事会

日 時 6月14日（火）午後3時30分〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ

2. 協議事項

- (1) 新役員体制による担当（案）について
- (2) 行政・関係団体等の委員就任等（案）について
- (3) 「事務長会運営委員会」「看護部長会運営委員会」委員改選について
- (4) 会員異動について
- (5) 研修会について
- (6) 新型コロナウイルス感染症対応について
- (7) 地域医療構想について
- (8) 私病協60周年誌の構成について
- (9) 役員退職慰労金について
- (10) 職員の賞与について
- (11) 第14回県民公開医療シンポジウムへの名義
後援について
- (12) 福岡市 内科系二次病院（平日夜間・休日）
の新規参加病院について

3. 会議等報告

4. 報告事項

◎ 広報委員会

日 時 6月14日（火）午後5時〈会議室〉

議 題 1. 福私病ニュースの編集について

◎ 研 修 会〈参加数 110名〉

日 時 6月20日（月）午後4時～6時

場 所 天神ビル11階 10号会議室

演 題 「最大で最強の地域包括ケア病棟 ver.2.0」

講 師 （一社）地域包括ケア病棟協会 会長

（医）和楽仁芳珠記念病院 理事長

仲井培雄 氏

1543年への旅 ～その6 鉄砲伝来から長篠の合戦まで

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 名誉校長

ヴェサリウスのファブリカに始まった「1543年への旅」シリーズの最後は「鉄砲伝来とその後の日本歴史の変遷」で締め括ることにしたい。NHKの大河ドラマに何度も登場した読者の皆様がよく御存知の話ばかりではあるが、御笑覧いただければ幸いである。

奇妙な鉄の筒

天文12年（1543年）8月25日、秋の嵐が日本列島を吹き荒れた日の翌日、一隻の異国船が種子島南端の門倉岬へ漂着した。古い文献では、この異国船のことをポルトガル船と記述しているものが多いようであるが、実際は当時ポルトガルの東洋進出の拠点となっていたマレー半島南部のマラッカから出航して来た中国船だったという説が有力である。

この異国船には約100名の人達が乗り組んでいたのであるが、その中に3名（2名という説もある）のポルトガル人が含まれていた。日本人が初めて接することになった南ヨーロッパ系の人達（南蛮人）である。そしてこのポルトガル人達は「凄まじい轟音とともに稲妻のような光を放つ奇妙な鉄の筒」を携えていたのである。

国産化への着手

日本人が1543年秋に初めて出会ったこの奇妙な鉄の筒「鉄砲」は、現在種子島の鉄砲館に展示されているということであるが、長さ約1メートル、重量約2.5キログラムの火縄銃で、現在日本各地に残っている火縄銃と比較するとやや小振りということである。製作地もポルトガルではなく、マラッカで製作されたものではないかと考え

られている。

当時種子島を統治していたのは、満16歳の若い第14代藩主種子島時堯（1528～1579）であった。時堯はこの新兵器に大変興味を抱き、大金を支払って（現在の貨幣価値に換算すると約1億円と言われている）これを購入したのである。時堯がこのような大金を支払っても、鉄砲を購入したのはそれなりの理由があった。種子島氏は鉄砲伝来の僅か半年前の1543年3月に、大隅半島の禰寝氏に攻め込まれ、領土であった屋久島を奪い取られていたのである。屋久島奪還を目指す時堯にとって、この新兵器はどうしても手に入れたかった品物であったのである。時堯は鉄砲を購入するや否やその複製の製作に取り掛かった。種子島は質の良い砂鉄が採れる鉄の産地で、時堯の時代は多くの刀鍛冶が活躍していたので、この点も大変好都合でもあった。

鉄砲の製作を命じられたのは八板金兵衛以下の10人の刀鍛冶職人であったが、彼等是一个の大きな難問に突き当たった。火縄銃は火薬の燃えかすを取り除くために、鉄砲の末端は取り外しが可能なように螺子で止められていたのであるが、この螺子の技術が日本にはなかったのである。種子島の職人たちの間では日本刀を造る技術は高度に発達していたのであるが、どのようにして円筒の内側に雌ネジを切り込んでいくかということが判らなかったのである。

どうしても螺子の作り方が判らずに思い余った金兵衛が、17歳になる娘若狭をポルトガル人に嫁がせて、その製法を伝授してもらったという物語（若狭伝説）が種子島には伝承されている。西之表市には若狭の墓という墓石があり、そこには

若狭忠孝の碑なるものも建立されているということである。

この若狭伝説が史実であったかどうかということは別として、古来より日本人が外国の優れた技術を導入する時にみせる執念の凄さをよく物語っている話であると言えよう。そして鉄砲伝来から僅か1年後の1544年、種子島時堯はついに国産鉄砲第1号器を手に入れたのである。

時は戦国

国産鉄砲第1号が完成した1544年頃の日本は、室町幕府第12代将軍足利義晴の治世であるが、北条氏康（1515～1571）、武田晴信（信玄、1521～1573）、今川義元（1519～1560）、毛利元就（1497～1571）等の戦国大名が各地で覇を競っていた。

最も早く鉄砲を実戦で使用したのは、種子島時堯と姻戚関係にあった島津氏で（時堯の正室は島津忠良の娘、娘は島津義久の正室）、国産鉄砲完成から5年後の1549年のことであったと記録されている。しかし極々小規模のものでしかなかったと考えられる。

この時期、新進気鋭の戦国大名であった武田晴信や毛利元就達も鉄砲には大変興味を抱いていたと考えられているが、鉄砲を大量に装備するまでには至らなかったようである。

信長と鉄砲

日本本土で鉄砲生産にいち早く取り組んだのが北近江（現在の滋賀県長浜市周辺）の国友村であった。近江は当時浅井氏の支配下にあったため、浅井氏と同盟関係にあった織田信長（妹の市を浅井長政に嫁がせていたのは有名な話である）にとっては真に好都合であった。「国友鉄砲記」には、信長が500挺という大量の鉄砲を注文したという記録が残されているということである。

1568年に信長は足利義昭を奉じて上洛に成功したが、この時副将軍の地位に就くことを断りその代わりに堺、草津、大津に代官を置いて、この地を自らの監督下に置くことを望んだということである。堺は国友村と並ぶ鉄砲の生産地であり、

かつ海外との交易の窓口でもあったのである。

その後、浅井長政の裏切りから浅井氏と敵対するようになった信長は、姉川の合戦（1570年）で浅井氏を滅亡させ近江を完全に掌握。国友村のある長浜城主には腹心の部下羽柴秀吉が就任した。このあたりは戦国物語の中でも最も有名な話であり、これまで数々のドラマに仕立て上げられているので、いまさら詳述することもないであろう。

長篠設楽原の戦い

鉄砲が一躍戦国の主役の座に踊り出たのは、天正3年（1575年）5月21日織田信長と徳川家康の連合軍が武田勝頼率いる騎馬軍団と激突した長篠^{なが}設楽原^{のしだらがはら}の合戦である。信長軍は最前線の馬防柵の後に三段構え（連射出来ない火縄銃の欠点を補うため、火縄への点火時期を少しずつずらして隊全体として連射出来るよう工夫した3人一組の編成）の鉄砲隊を配置し、戦国第一の武田騎馬軍団を壊滅させた。この時信長軍が配備していた鉄砲の数は3000挺と言われている。

長篠の合戦は戦国の歴史を変えた大変有名な戦いであるので、現在も様々な角度から検討が進められている。昨年放映されたNHKテレビ「大戦国史」では、長篠の古戦場から発掘された両軍の弾丸の違いが論ぜられていた。信長軍の弾丸の原材料は鉛、武田軍のそれは銅であったということである。詳細な分析の結果では信長軍の鉛はタイの鉱山で産出されたもの、武田軍の銅は明銭を鋳つぶしたものである。鉛は溶解温度が低く加工が容易で、弾丸の材料としては銅よりも遥かに優れている。堺を押さえていた信長は、鉛の入手も火薬の材料となる硝石の輸入も容易で、鉄砲の数だけではなく兵士一人当たりの使用弾丸の数も武田軍を圧倒的に凌駕していたということである。

鉄砲伝来は日本史の中でも大変重要な事項であるため、ウィキペディア等を参照すると実に様々な説があり、取捨選択に困惑する。本稿では最もスタンダードな説と考えられる「堂々日本史、KTC中央出版」の記述に準拠した。

ラーメン丼の縁模様

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

ラーメンの丼には、縁のところに赤い線で四角い模様が描かれている。その四角は、二つづつ繋がっていて、ローマ字のSを横にしたように見える。これは中国の伝統的な模様で、「雷文^{らいもん}」と言う。

丼の他、インスタント麺の袋にも描かれていて、注意して見ると、いくつかのヴァリエーションがあった。

- 1) ローマ字のSを角張らせて、横に倒したもの。東洋水産のマルちゃん、サンポー軒の九州ピリ辛などである(図1)。

- 2) 四角の巻き込みが二重になったもの。一蘭とんこつ(エースコック)、ニュータンメン(サンヨー)がある。
- 3) 巻き込みが逆向きのもの。エースコック RAGE ししゃもだし。
- 4) 雷文が繋がらないもの。佐賀県伊之助とんこつラーメン(図2)。
- 5) 雷文をくずした型。東洋水産マルちゃんのカラだし味噌。

雷文は、各社が独自のデザインを試みていて、面白い。



図1 焼きそばの袋(周囲に雷文)



図2 雷文が繋がらない紋様

人体旅行記 乳房（その十）

国立病院機構 都城医療センター 院長 吉住 秀之

慈愛に満ちた母親から乳飲み子に与えられるミルクは、その87%が水分です。残り13%が固形栄養成分ですが、そのうち乳糖（ラクトース）を主とする糖質が4.4～4.7%、脂質が3.3～5.3%、タンパク質が2.9～3.9%を占めます。

ラクトースは、甘さの程度からすると果糖、ブドウ糖、ショ糖よりも低く、ショ糖の甘さを1とすると乳糖は0.15くらいです。母乳中の乳糖含量は5～6%なので、0.75～0.9程度の糖度とすると、甘さの知覚閾値は超えますが、これは甘いとまでいえるものではありません。しかし文学では母乳は甘いと相場が決まっており、同時に母親の優しさを意味します。この優しさ（甘さ）を捨てるとき女性はずっと冷酷になれるということをシェイクスピアは、『マクベス』においてダンカン王の弑逆を決意したマクベス夫人に次の台詞を吐かせて表現しています。

さあ、人殺しの手先ども、このふくよかな女の胸に忍び込み、甘い乳を苦い胆汁に変えてしまっておくれ（第一幕第五場）

乳の甘さと胆汁の苦さ、乳の清らかな白と胆汁のどす黒さの対比が鮮やかです。そして優柔不断な甘さを捨て切れていない夫には、自分の揺るぎない決意をこう述べて退路を断ちます。

私は子供に乳を飲ませたことがある、自分の乳を吸われるいとおしさはしっています—でも、その気になれば、笑みかけてくるその子の柔らかい歯ぐきから乳首を引ったくり、脳みそを抉りだしてみせましょう、さっきのあなたのように、一旦こうと誓ったからには。（第一幕第七場）

『マクベス』を初めて読んだ中学生の時には、この怖さがよくわかりませんでした。長らく夫婦として暮らした今読み返してみると、この場面は端的に怖い。妻が夫を唆して王殺しを実行させ、結果的に破滅に導くというストーリーもさらに怖い¹⁾。シェイクスピアは18歳のとき、8歳年上のアン・ハサウェイという女性と結婚しています。『マクベス』を書いたのは41歳の時で、その11年後53歳で亡くなっており、妻のアンはその7年後に亡くなりました。二人の関係がどうだったか（仲睦まじかったのか冷え切っていたのか）が立派な研究課題となるようです。研究者の間でも議論があるようですが、彼の遺言が、妻に「2番目にいいベッドと家具」を相続させるというものだったこともいろいろな憶測を呼ぶのでしょう。門外漢からすると、あんな凄みのある台詞を生み出せるところをみると、夫婦生活は乳のように甘いものではなかったであろうと拝察します。

- 1) 近年、読書を通じて知識を深め、見聞を広めることは人生を一層豊かにすることであるとして、ライフステージを通じた読書活動の推進が唱えられていますが、こうした経験はまさにそれになかったものと言えるでしょう。生涯学習という視点では高齢期において「学び直し」を健康寿命の延伸につなげることが掲げられています。『マクベス』を読みなおし自らの結婚生活を振り返り、生きる意欲を新たにすることをお勧めします。

理 事 会

◎ 第80回時理事会 報告

日 時 令和4年6月28日(火) 16:30~16:55

会 場 オリエンタルホテル福岡

博多ステーション2F フェスタ

(福岡市博多区博多駅中央街4-23)

出席者(敬称略)

会 長 赤司

副会長 一宮、岩崎、志波

理 事 平専務理事、岩永総務理事、伊東財務
理事、壁村企画理事、江頭、桑野、
島、津留、中房、平城、深堀、松
浦、森田、山下、横倉

計19名(理事総数25名)

監 事 野村、原

議 長 岡嶋

副議長 梅野

顧 問 今泉、河野

I 行政等からの通知文書

特に報告を要するものではありませんでした。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1)各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第1回看護委員会

中房担当理事から、報告がありました。

日 時 令和4年4月28日(木) 15:00~16:30

開催方法 九州大学医学部百年講堂

協議事項

1. 委員の交代について

2. 令和4年度看護研修会計画について

イ 第1回栄養管理委員会

平城担当理事から、報告がありました。

日 時 令和4年5月11日(水) 15:00~15:45

開催方法 WEB開催

協議事項

1. 委員の交代について

2. 第70回栄養管理研修会について

ウ 第1回臨床検査委員会

壁村担当理事から報告がありました。

日 時 令和4年6月3日(金) 16:00

開催方法 TKP博多駅筑紫口

ビジネスセンター 903号

協議事項

1. 委員の交代について

2. 第7回臨床検査研修会について

【開催予定】

ア 第14回県民公開医療シンポジウム

一宮運営委員長から、説明がありました。

日 時 令和4年8月27日(土) 14:00~16:00

会 場 エルガーラホール 大ホール

テーマ めざそう! "元気で長生き"

~健康長寿のヒント~

シンポジウム

座 長 公益社団法人福岡県病院協会

副会長

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院 病院長 一宮 仁

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院 副院長 吉澤誠司

講演1 「健康寿命延伸のために

—骨粗鬆症と関節疾患—」

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院 整形外科部長・リハ

ビリテーション部長

馬渡太郎 先生

講演2 「口腔の健康と健康長寿」

九州大学病院高齢者歯科・全身管

理歯科 教授 柏崎晴彦 先生

講演3 「ライフコースワクチン

—思春期から高齢者までのワクチンを中心に—」

福岡看護大学基礎・基礎看護部門

基礎・専門基礎分野 教授

福岡歯科大学医科歯科総合病院

予防接種センター長

岡田賢司 先生

イ 第165回看護研修会

中房担当理事から、説明がありました。

日 時 令和4年8月29日(月) 13:00~16:50

8月30日(火) 13:00~16:30

8月31日(水) 9:00~12:40

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

定 員 150名

テーマ 認知症（認知症看護実践力向上研修）

研修内容 認知症の原因疾患と病態・治療／入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術／コミュニケーションの方法及び療養環境の調整方法／行動・心理症状(BPSD)／認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援／在宅に向けた看護・介護連携、退院支援など

Ⅲ 収益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会、研究会関係

【開催結果】

ア 第1回医療事務委員会

伊東担当理事から、報告がありました。

日 時 令和4年6月7日(火)16:00

開催方法 福岡県中小企業振興センター
402号室

協議事項

1. 委員の交代について
2. 第122回医療事務研究会の開催について

【開催予定】

ア ほすびたる編集委員会（岡嶋編集長）

岡嶋編集長から、説明がありました。

日 時 令和4年7月12日(火)17:45～

場 所 福岡県医師会館2F 事務局
及びWEB参加

協議事項

1. 9月号の編集計画について
2. 11月号の編集計画について
(シンポジウム特集号)
3. その他

(2) 第1回臨時理事会議事録について

平専務理事から、説明がありました。

(3) 会長及び業務執行理事の活動状況について

平専務理事から、説明がありました。了承されました。

(4) 5月分の収支報告について

伊東財務理事から、説明がありました。了承されました。

(5) 福岡県医療費適正化推進委員会の委員の推薦について

平専務理事から、現委員の平理事を引き続き推薦したとの報告がありました。

(6) 救急医療情報システム推進委員会委員の推薦について

平専務理事から、現委員の森田理事を引き続き推薦したとの報告がありました。

(7) 専門研修プログラム調整委員会の委員変更及び推薦について

平専務理事から、内科は現委員の岩永総務理事から浜の町病院谷口副院長に変わり、他の4科については現委員の継続で県に報告したとの説明がありました。

(8) 令和4年度理事会等日程について

平専務理事から、今年度の理事会等の日程について説明がありました。

2 協議事項

(1) 第10回定時会員総会の議題について

第10回定時会員総会の予定議案のうち、次の議案について審議が行われました。

- ① 第3号議案 任期満了に伴う役員の改選等について
- ② 第4号議案 異動に伴う参与の委嘱について

平専務理事から、第3号議案について、役員候補者数はいずれも定数内であること、赤司会長の顧問委嘱案を会員総会に諮ること、また、第4号議案について、人事異動に伴い西日本シティ銀行から推薦があった上原法人ソリューション部長を参与に委嘱するとの説明がありました。

いずれも、異議なく了承されました。

3 行事予定

平専務理事から、説明がありました。

(1) 令和4年7月

ア ほすびたる編集委員会

日 時 令和4年7月12日(火)

17:45～
 場 所 福岡県医師会館 2F事務局
 及びWEB参加
 (2) 令和4年8月
 ア 納涼会
 日 時 令和4年8月23日(火)
 18:30～
 会 場 割烹よし田(福岡市博多区
 店屋町)を予定
 イ 第14回県民公開医療シンポジウム

日 時 令和4年8月27日(土)
 14:00～16:00
 会 場 エルガーラホール大ホール
 ウ 第165回看護研修会
 日 時 令和4年8月29日(月)
 ～31日(水)
 場 所 九州大学医学部百年講堂
 大ホール
 テーマ 認知症(認知症看護実践力
 向上研修)



医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房機器等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
 TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合
 〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
 TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632



「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...

太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社
 〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 **中島 健介**

事業内容：医療介護福祉の総合提案企業

- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売
- 布団のレンタル

太陽セランドグループ会社

太陽シルバーサービス株式会社	〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田585-1	TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701
ジャパンエアマット株式会社	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5	TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701
株式会社北九州シーアイシー研究所	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200	TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101
株式会社メディカルナビゲーション	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5	TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672
株式会社サンウエックス	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200	TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445

暑中お見舞い 申し上げます

2022（令和4）年7月

＊掲載は受付順にさせていただきました。



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 **中村 雅史**

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 **志波 直人**

〒830-0011
久留米市旭町67番地
電話 (0942)35-3311(代) FAX (0942)32-6278
URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>
E-mail kanrika@kurume-u.ac.jp



福岡大学病院
Fukuoka University Hospital

病院長 **岩崎 昭憲**

〒814-0180
福岡市城南区七隈七丁目45番1号
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200
URL <http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 **一宮 仁**

〒810-8539
福岡市中央区長浜3丁目3番1号
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262
URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>
E-mail info@hamanomachi.jp

医療法人 原三信病院
Harasanshin Hospital

理事長 平 祐 二
院長 原 直 彦

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 番 8 号
電話 (092) 291-3434 FAX (092) 291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>

医療法人社団 久英会
KYUEIKAI 高良台リハビリテーション病院

理事長 中 尾 一 久
院長 永 田 剛

〒 830-0054
久留米市藤光町 965-2
電話 (0942) 51-3838 FAX (0942) 51-3535
URL <https://www.kyueikai.jp>
E-mail kouradai-web@kyueikai.jp



社会福祉法人 福岡県済生会支部
福岡県済生会福岡総合病院

院長 松 浦 弘

〒 810-0001
福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号
電話 (092) 771-8151 FAX (092) 716-0185
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>
E-mail byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp

aih 飯塚病院
innovate and evolve

院長 増 本 陽 秀

〒 820-8505
飯塚市芳雄町 3 番 83 号
電話 (0948) 22-3800 FAX (0948) 29-5744
URL <http://aih-net.com>

医療法人 誠心会
井上病院

理事長 井 上 健
院長

〒 819-1104
福岡県糸島市波多江 699 番地 1
電話 (092) 322-3437 FAX (092) 322-5806
URL <https://www.sih.or.jp>
E-mail inouehospital@sih.or.jp

社会医療法人財団 池友会
香椎丘リハビリテーション病院
KASHIIGAOKA REHABILITATION HOSPITAL

院長 松 尾 義 孝

〒 813-0002
福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号
電話 (092) 662-3200 FAX (092) 662-3303
URL <http://www.kashii-rh.net>
E-mail info@kashii-rh.net

医療法人十全会 おおりん病院

理事長 石橋正彦
院長

〒816-0942
福岡県大野城市中央1丁目13番8号
電話 (092)581-1445 FAX (092)591-7060
URL <http://oorin.org>

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 田川病院

病院長 黒松肇

〒826-0023
福岡県田川市上本町10番18号
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540
URL <https://www.s-tagawa-hp-.tagawa.fukuoka.jp>
E-mail syomuka@s-tagawa-hp-.tagawa.fukuok.jp



福岡県立精神医療センター

太宰府病院

Fukuoka Prefectural Psychiatric Center Dazaifu Hosupital

院長 小嶋享二

〒818-0139
福岡県太宰府市五条3丁目8番1号
電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060
URL <https://www.dazaifu-hsp.jp>
E-mail info@dazaifu-hsp.jp



医療法人社団 筑山会

松岡病院

理事長 松岡嘉宣
院長

〒821-0012
福岡県嘉麻市上山田1287
電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926
URL <http://www.chikuzankai.com/>



原土井病院

HARADOI HOSPITAL

理事長 原寛
病院長 野村秀幸

〒813-8588
福岡市東区青葉6丁目40番8号
電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059
URL <https://www.haradoi-hospital.com>
E-mail info@haradoi-hospital.com



医療法人 成康会

堤小倉病院

理事長 堤康博
院長

〒802-0835
北九州市小倉南区大字堀越358番地
電話 (093)962-1950 FAX (093)963-1075
E-mail horiko@lime.ocn.ne.jp



社会医療法人財団 白十字会

白十字病院

病院長 潤 野 泰 秀

〒 819-8511

福岡市西区石丸 4 丁目 3 - 1

電話 (092)891-2511 FAX (092)881-4491

URL <http://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp>

E-mail hakujyuji@hakujyujikai.or.jp



社会医療法人 水光会

宗像水光会総合病院

MUNAKATA SUIKOKAI GENERAL HOSPITAL

理事長 津 留 英 智
院長 田 山 慶一郎

〒 811-3298

福岡県福津市日蒔野 5 丁目 7 番地の 1

電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981

URL <http://www.suikokai.or.jp>



医療法人徳洲会

福岡徳洲会病院

Fukuoka Tokushukai Hospital

院長 乗 富 智 明

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

電話 (092)573-6622 FAX (092)573-1733

URL <https://www.f-toku.jp>

医療法人社団福光会

福田眼科病院

理事長 福 田 恭 江
病院長 江 島 哲 至

〒 814-0013

福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号

電話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649

E-mail fukudaganka@nifty.com



宗像医師会病院

MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 伊 東 裕 幸

〒 811-3431

福岡県宗像市田熊五丁目 5 番 3 号

電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016

URL <http://www.mmah.jp>



社会福祉法人 福岡県済生会支部

福岡県済生会二日市病院

院長 壁 村 哲 平

〒 818-8516

福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号

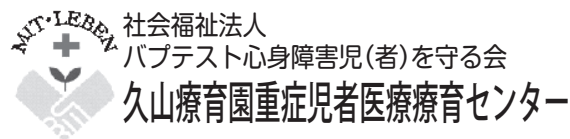
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210

URL <https://www.saiseikai-futsukaichi.org>



理事長 西野 豊彦
院長

〒 820-0206
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790
E-mail nishino1114@miracle.ocn.ne.jp



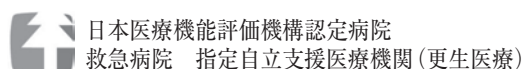
理事長 宮崎 信義
センター長 岩永 知秋

〒 811-2501
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
電話 (092)976-2281 FAX (092)976-2172
URL <http://hisayama-smid.jp/>
E-mail hisayama@hisayama-smid.jp



院長 原 寿郎

〒 813-0017
福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1 番 1 号
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300
URL <https://childhp.fcho.jp>



医療法人 シーエムエス
杉循環器科内科病院

理事長 杉 健三
院長 池田 久雄

〒 837-0916
大牟田市大字田隈 950 - 1
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077
URL <https://www.sugi-hosp.jp>
E-mail info@sugi-hosp.jp



理事長 富永 隆治
院長 益田 宗孝

〒 811-0213
福岡市東区和白丘 2 丁目 2 - 75
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051
URL <https://www.f-wajirohp.jp>
E-mail info@f-wajirohp.jp



病院長 塚本 浩

〒 803-8505
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>
E-mail kkr-shinkokura@shin-kokura.gr.jp



創立 67 周年 (1955 年創立)
救急病院・開放型病院 臨床研修病院指定

医療法人 **西福岡病院**

日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver1.1)

理事長 **安藤 文英**
院長 **渡辺憲太郎**

〒 819-8555 福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
TEL092-881-1331 FAX092-881-1333
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>
Mail jim@nishifukuhp.or.jp



医療法人 井上会

篠栗病院

SASAGURI HOSPITAL

理事長 **陣 内 重 三**

〒 811-2413
糟屋郡篠栗町大字尾仲 94
電話 (092)947-0711 FAX (092)947-0715
URL <http://www.sasaguri.or.jp>



医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 **江 頭 啓 介**
院長 **江 頭 省 吾**

〒 814-0143
福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
URL <http://www.sakurahp.or.jp>



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

なかばる

社会保険 **仲原病院**

Social Insurance Nakabaru Hospital

病院長 **大 神 吉 光**

〒 811-2233
福岡県糟屋郡志免町別府北 2 丁目 12 番 1 号
電話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247
URL <http://www.nakabaru-hp.jp>
E-mail nhp-contact@nakabaru-hp.jp



社会医療法人 喜悦会

那珂川病院

理事長 **下 川 敏 弘**
院長 **吉 村 寛 志**

〒 811-1345
福岡市南区向新町 2 丁目 17-17
電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460
URL <http://www.nakagawa-hp.com>



独立行政法人 国立病院機構

福岡東医療センター

院長 **中 根 博**

〒 811-3195
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号
電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775
URL <https://fukuokaie.hosp.go.jp/>



福岡ハートネット病院

FUKUOKA HEARTNET HOSPITAL

院長 樋口 雅 則

〒 819-0002

福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 - 50

電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761

URL <https://heartnet-hp.jp/>



福岡大学西新病院

Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 三 浦 伸一郎

〒 814-8522

福岡市早良区祖原 15 番 7 号

電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398

URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



公立八女総合病院企業団



公立八女総合病院

企業長 平城 守

〒 834-0034 福岡県八女市高塚 540 番地 2

電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185

URL:<http://www.hosp-yame.jp/hospital/>

みどりの杜病院

院長 原口 勝

〒 834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

電話 (0943)23-0002 FAX (0943)23-0012

URL:<http://www.yame-midori.jp/>

介護老人保健施設 回寿苑

施設長 須古 治男

〒 834-1215 福岡県八女市黒木町湯辺田 270 番地

電話 (0943)42-3131 FAX (0943)42-3111

URL:<http://www.hosp-yame.jp/kaijuen/>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院長 桑 野 博 行

〒 812-0046

福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号

電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900

URL <https://shiminhp.fcho.jp>

E-mail shiminbyoin@fcho.jp



公立学校共済組合

九州中央病院

Kyushu Central Hospital

病院長 前 原 喜 彦

〒 815-8588

福岡市南区塩原 3 丁目 23 番 1 号

電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540

URL <http://kyushu-ctr-hsp.com/>

社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 谷口 雅彦

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地

電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

URL <https://www.st-mary-med.or.jp/>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5

電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

URL <https://www.st-mary-health.jp/>

 **Minkodo**

医療法人
湊江堂 **三野原病院**

理事長
院長 **三野原 元 澄**

〒811-2402
福岡県糟屋郡篠栗町金出 3553
電話 (092)947-0040 FAX (092)947-1011
URL <http://www.minkodo-minohara.com>



福岡赤十字病院

日本赤十字社

院長 **中 房 祐 司**

〒815-8555
福岡市南区大楠3丁目1番1号
電話 (0570) 03-1211 FAX (092) 522-3066
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



田川市立病院

田川市
病院事業管理者 **鴻 江 俊 治**

病 院 長 **松 隈 哲 人**

〒825-8567
田川市大字楠 1700 番地 2
電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715
URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>
E-mail shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp



社会医療法人
弘恵会 ヨコクラ病院

理事長 **横 倉 義 武**
院 長 **横 倉 義 典**

〒839-0295
福岡県みやま市高田町濃施 480 番地 2
電話 (0944)22-5811 FAX (0944)22-2045
URL <https://www.yokokura-hp.or.jp>

ほすびたる 761 号をお届けします。

今月号は、この度、当病院協会会長を退任されました、赤司浩一先生に、退任にあたってのご挨拶をいただきました。先生には、コロナ禍の中で、当協会をリードしていただき、会員一同、感謝申し上げます。先生のますますのご発展を、祈念いたします。

また、赤司先生の後任として、会長に就任されました中村雅史先生には、就任のご挨拶をいただきました。新しい息吹きを吹き込んでいただき、当病院協会をご指導下さいますよう、お願い申し上げます。

さて、先日、九州大学言語文化研究院教授で、ドイツ文学を専門に御研究されている、F 先生の講演を拝聴する機会に恵まれました。講演はオンラインで行われ、辞書の編纂をテーマとした講演でした。九州大学の先生方が中心となって出版されている『アポロン独和辞典』（同学社）の第 4 版（2022 年、3 月 1 日発行）への改訂にあたってのご苦勞などが、興味深く語られました。辞書の編纂にあたって、長期間文字ばかりを見ていると、文字が奇妙に感じられるようになり、これを「文字禍」と呼ぶそうです。また肉体的には、目への負担が大きく、F 先生は網膜剥離寸前の状態に陥ったそうで

す。その他、新語、造語、差別語、ジェンダーの問題など、心を碎かねばならないことが、気の遠くなるほどたくさん存在しています。そのような中で、良い辞書作りに邁進する先生方の努力には頭が下がります。

そういえば、昔、高校生の頃でしょうか、辞書を、教室の机や椅子に叩きつけていた生徒がいました。辞書を、よれよれにして、いかにも使い込んでいるように見せかけるため、変形させているのです。なんとも悲しい姿ではありませんか。もちろん、この人の成績はあがりませんでした。

辞書は、引くものですが、同時に読むものであると言った人がいます。読んでいくと、確かに楽しいものです。今や、オンラインの無料辞書が簡単に使え、便利ではありますが、このような楽しみ方はできません。また辞書の持つ手触り、匂いなども得難いものです。F 先生の講演から、いろいろな事を学びました。

そこまでは至りませんが、ほすびたる編集委員会も、皆様のご期待に添える誌面作りに頑張っております。皆様に、大事に読んでいただいているものと信じております。叩いたり、変形させたりする必要は、全くありません。

(岡嶋泰一郎 記)

ほすびたる

第 761 号

令和 4 年 7 月 20 日発行

発行 © (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号

福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集・発行人 © (公社)福岡県病院協会

制作 © (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1

麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・岩永 知秋

壁村 哲平・伊東 裕幸

横倉 義典・田邊 郁子

第14回 県民公開医療シンポジウム

めざそう！ “元気で 長生き”

～健康長寿のヒント～

2022
8.27
SAT

14:00～16:00

定員：300名

入場無料



Program

エルガーラ 大ホール

福岡市中央区天神1-4-2 TEL:092-711-5017

1.開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長
九州大学病院 病院長

中村 雅史

2.シンポジウム

座長

公益社団法人福岡県病院協会 副会長
国家公務員共済組合連合会浜の町病院 病院長
国家公務員共済組合連合会浜の町病院 副院長

一宮 仁

吉澤 誠司



講演1

「健康寿命延伸のために-骨粗鬆症と関節疾患-」

国家公務員共済組合連合会浜の町病院
整形外科部長 リハビリテーション部長

馬渡 太郎 先生



講演2

「口腔の健康と健康長寿」

九州大学病院
高齢者歯科・全身管理歯科 教授

柏崎 晴彦 先生



講演3

「ライフコースワクチン-思春期から高齢者までのワクチンを中心に-」

福岡看護大学
基礎・基礎看護部門 基礎・専門基礎分野 教授
福岡歯科大学医科歯科総合病院
予防接種センター長

岡田 賢司 先生

質疑応答

3.閉会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 副会長
福岡大学病院 病院長

岩崎 昭憲



主催 公益社団法人福岡県病院協会

後援 福岡県、福岡市、(公社)福岡県医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(公社)福岡県看護協会、(公社)福岡県栄養士会、(公社)福岡県診療放射線技師会、(公社)福岡県理学療法士会、(公社)福岡県作業療法協会、(一社)福岡県言語聴覚士会、(一社)福岡県歯科医師会、(一社)福岡県臨床衛生検査技師会、(一社)福岡県私設病院協会、(一社)福岡県精神科病院協会、(一社)福岡県医療法人協会、(一社)福岡県病院薬剤師会、日本糖尿病協会福岡県支部、(一社)福岡市医師会、(一社)福岡市歯科医師会、(一社)筑紫医師会、(一社)粕屋医師会、(一社)糸島医師会、(一社)宗像医師会、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、NHK福岡放送局、(株)福岡放送、RKB毎日放送、(株)テレビ西日本、九州朝日放送、テレQ（順不同）

・ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。・発熱や咳など、体調がすぐれない場合は参加をお控えください。・新型コロナウイルス感染状況により、中止となる場合があります。

主 催 公益社団法人福岡県病院協会 TEL 092-436-2312 URL <http://www.f-kenbyou.jp>
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号福岡県メディカルセンタービル 2階